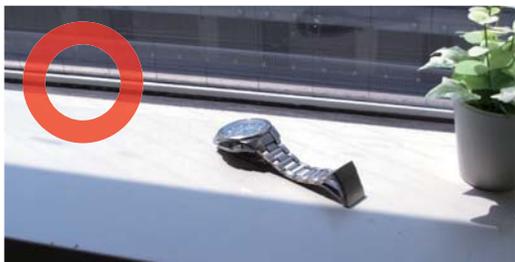
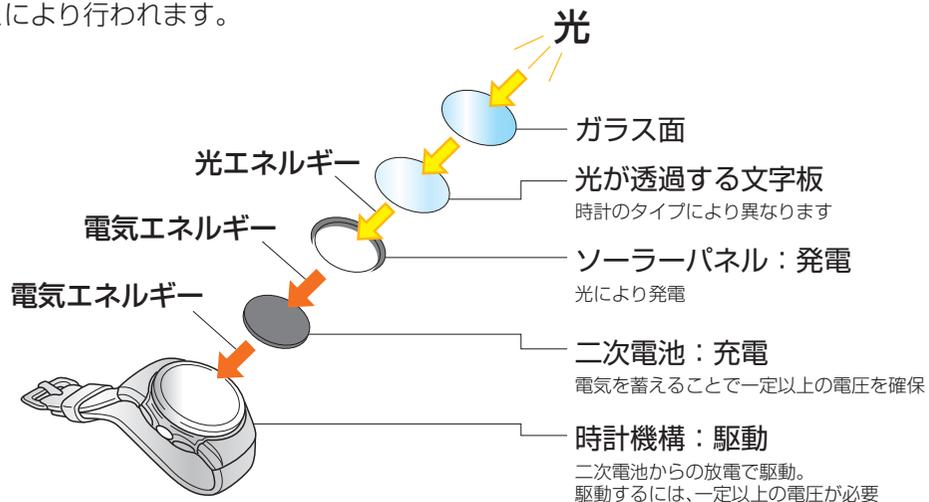


タフソーラーの仕組み(概略図)

ソーラーパネルで発電した電気エネルギーを二次電池に蓄えて(充電)、その電気エネルギーを利用して時計を動かしています。充電はガラス面全体に光を当てることにより行われます。



ソーラーパネルの形

時計の形状に合わせて様々な形があります。ここでは代表的なものを紹介します。



赤色の部分にソーラーパネルが埋め込まれています

リング型

デジタルウォッチでは、デジタル表示部の周囲を囲むようにリング型のソーラーパネルを使用しています。



文字板型

アナログウォッチ、コンビウォッチでは光を透過する文字板の下にソーラーパネルを使用しています。

**ガラス面全体に光を当てて充電してください。
こまめに充電することが大切です！**

こんなときは充電できていません

十分な光が当たらない状態で使用すると二次電池には充電されません。



袖に隠れてしまっている



暗い室内



引出しに入れてある場合



文字板が下を向いている

修理に出す前に充電をお試ください

修理に出される前に取扱説明書などを参考に、晴れた日の日光をガラス面全体に当てるようにして、3時間程度の充電をお試ください。
充電時間は機種ごとに異なります。詳細はウェブサイトでもご覧になれます。

<http://casio.jp/support/wat/manual/>

タフソーラーの修理に依頼される時計で、故障ではなく充電不足のために止まっているだけの状態が多く見受けられます。それに気づかずに動作しない、表示しないなどの理由



で修理に出される場合が多いようです。二次電池の充電量が著しく不足している場合、動作しはじめまでに数時間の充電が必要です。動きはじめた際はさらに充電することによりお使いいただけます。満充電まではさらに数十時間を要します。

充電点検調整料金について

無償修理期間後の充電点検調整は有償扱いとさせていただきますので、予めご了承ください。

■時計の機能・仕様に関するご質問

お客様相談室 0570-088955
※PHS・IP電話の場合 03-5334-4869

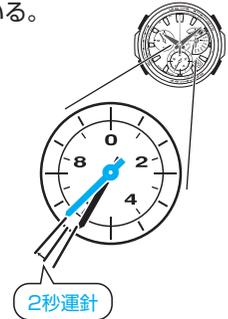
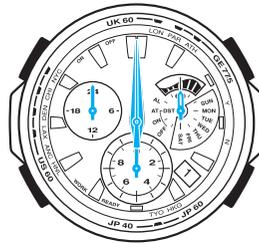
■アフターサービスに関するご質問

お客様修理相談センター 0570-004161
※PHS・IP電話の場合 042-560-4161

充電不足確認の目安

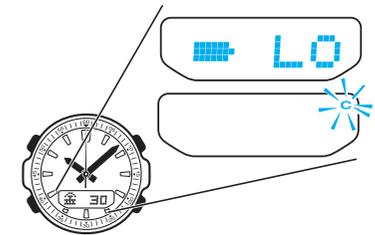
アナログ表示

- アナログ表示針がすべて12時で止まっている。
- 2秒毎のステップ運針になっている。



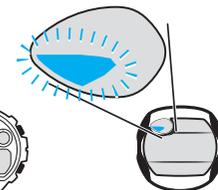
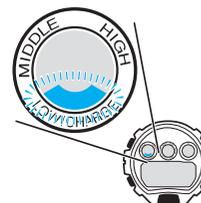
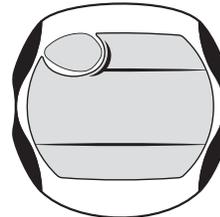
コンビ表示

- アナログ表示針がすべて12時で止まり、デジタル表示が消えている。
- インジケーターのLOW、CHARGEが点滅している。



デジタル表示

- 表示が消えている(故障の場合もあります)。
- インジケーターのLOW、CHARGEが点滅している(文字ではなくレベルを表す表示の点灯の場合もあります)。



上記以外の表示もありますので、詳しくは取扱説明書をご確認ください。